

令和7年度 **第2回**

素形材産業 経営賞

募集の
ご案内

応募締切

令和7年

6月6日

金

表彰式

令和7年

11月7日

金

募集対象とする素形材企業とは

- 鋳造、鍛造、金属プレス加工、粉末冶金等によって素材に形状を付与した素形材を製造する企業
- 上記と密接な関連を持つ鋳造機械、鍛圧機械、金型、木型、工業炉、熱処理等の事業を営む企業

“素形材表彰”で検索

素形材表彰



ご応募・問い合わせ先

一般財団法人素形材センター 業務部

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 (機械振興会館301号室)

電話: 03(3434)3907 FAX: 03(3434)3698

E-mail: gyoumu@sokeizai.or.jp

11月は、
「素形材月間」
です。

第41回素形材産業技術賞も同時募集中

■ 本賞の趣旨

素形材産業経営賞は、(一財)素形材センターが令和6年度に創設した表彰制度で、優れた素形材企業経営によりわが国素形材産業における先進的な取組を実施した企業の経営者や担当者を表彰し、もってわが国素形材産業の振興に資することを目的としています。

本表彰事業は、11月の素形材月間事業(本年で31回目)の中心に位置付けられており、経済産業省関係者等も列席して、表彰式を挙げる予定です。

素形材企業及び素形材業界を応援する表彰制度です。ご応募をお待ちしています。

■ 表彰の対象

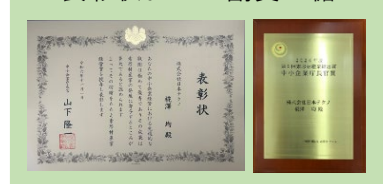
◆素形材産業経営表彰委員会で審査の結果、素形材産業における素形材企業経営、先進的な取組を総合的に行い、顕著な功績を収めた経営者や担当者に素形材センターより素形材センター会長賞を授与するものです。

◆特に優秀な活動については、経済産業大臣賞、中小企業庁長官賞、経済産業省製造産業局長賞の交付を申請する予定です。

【表彰の種類(予定)】

- ◇経済産業大臣賞※1
- ◇中小企業庁長官賞※1
- ◇経済産業省製造産業局長賞※1
- ◇素形材センター会長賞

表彰状および副賞の楯



※1：特に優秀と認められた場合に、経済産業省へ大臣賞等の授与を申請します。
但し、所定の水準に達しない場合は“該当なし”とします。

■ 表彰の対象・内容

次の①～⑦の各項目について、顕著な功績を収めた経営者又は担当者を表彰します。

- ① 海外展開などの新事業展開や生産性向上に向けた取組（ビジネスモデル）
- ② 従業員がそれぞれの特長や経験を活かし、多様な人材が活躍できる場を提供する取組（ダイバーシティ）
- ③ 従業員のワークライフバランスの実現のため、柔軟な勤務形態を取り入れ、キャリアアップの促進に向けた取組（柔軟な働き方）
- ④ 従業員の健康を重要な経営資源と捉えて、個人の健康管理や増進により企業の業績向上に繋げる取組（健康経営）
- ⑤ 従業員の人材育成等により、企業の組織力を強化する取組（人材育成）
- ⑥ リスク及びそのリスクが及ぼす影響を把握し、事前に対策を講じることで、危機発生を回避するとともに損失を極小化する取組（リスクマネジメント）
- ⑦ その他素形材産業の発展に極めて貢献度の高い取組

■ 募集締切

令和7年6月6日(金)

■ 応募の方法

応募書類の入手

応募書類の様式(MS-Word形式)は、素形材センターのホームページ、下記 URL からダウンロードして入手いただけます。

<https://www.sokeizai.or.jp/pages/140/>

※応募書類様式”を郵送希望の場合は、お電話やFAX等で事務局へご依頼ください。

応募書類の作成

応募書類の記入様式に基づき作成して下さい。また、補足資料(公表資料、図表・写真等)を添付できます。なお、応募内容については他の特許等を侵害していないこと、或いは係争中でないことが条件です。

応募書類の提出

応募書類は、eメール(電子データ)、または郵送(プリント1部、及び同書類をCD等に格納した電子データ)のいずれかでお送りください。応募書類は、本表彰の審査以外には使用いたしません。なお、応募書類は選考結果に関わらず返却いたしません。

【注】再応募も可能です。但し、前回は応募内容のブラッシュアップやその後の進展が期待されます。

■ 審査の流れ

審査は、素形材センター会長が委嘱する学識経験者で構成する素形材産業経営表彰委員会において、本賞の審査基準に基づき以下の流れで審査します。

書類審査

ヒアリング審査

最終審査

【審査基準】

「表彰の対象・内容」に記載しました①～⑦について、
以下のような視点で総合的評価し表彰します。



- 取組のメンバー構成・役割（取組に当たって、メンバー構成（特に代表者の位置づけ）とともに、どのような役割で何を行ったか明らかになっていること。）
- 実施した取組の内容、特徴（新規性、独創性、社会環境変化への対応等を有した内容であったか明らかになっていること。）
- 実施した取組の成果・内外への波及効果（取組を行ったことでどのような成果や効果があったか明らかになっていること。例えば、取引先の信頼度向上、社内組織の活性化、優先業務の明確化等につながった等。）
- 取組の定着、発展性（短期ではなく、継続性をもった取組であることを明らかにしていること。例えば、改善、見直し、強化、新規拡充等を有する等。）

■ 受賞者の公表

- ◆11月の素形材月間記念式典で公表・表彰式を行います。
- ◆当センターのホームページやメールマガジン等で公表・PRいたします。概要は、月刊誌「素形材」12月号に掲載します。その際には、原稿執筆をお願いいたしますので、予めご了承ください。
- ◆経済産業省本館ロビーに於いて“受賞取組のパネル展示”を行いました。本年度も展示を予定しています。

■ 表彰式

素形材月間の主要事業として、素形材産業経営賞等の表彰式を行います。

◆開催日：令和7年11月7日(金)

◆会場：機械振興会館大ホール

(東京都港区芝公園3-5-8)



写真：令和6年度「素形材月間記念式典」での素形材産業貢献表彰式

■ 令和6年度 第1回素形材産業経営賞 受賞一覧

※受賞に掲げるタイトルは、受賞された取り組みを紹介するため「月刊誌・素形材(12月号)」で受賞内容掲載に用いた名称です。



中小企業庁長官賞

脱炭素化時代に向けた“アセチレン添加による次世代ガス浸炭法及び設備”の開発 ～ダイレクト浸炭～
株式会社日本テクノ 花澤 均 氏



経済産業省製造産業局長賞

夜勤レスによる健康経営

株式会社リケンCKJV 釣谷 宏行 氏

独自クラウドサービスIoT導入で達成した経営改善と生産性向上

久野金属工業株式会社 久野 忠博 氏

「働きたくても働けない人材」を活用した中小企業の人材確保対策

株式会社阪村エンジニアリング 松井 大介 氏



一般財団法人素形材センター会長賞

社員の声を反映し、より働きやすい会社へ

富士電子工業株式会社 渡邊 弘子 氏

減災活動の推進と能登半島地震からの復旧状況

アイシン軽金属株式会社 西川 一浩 氏

新鑄造技術を活用した生産安定化への取り組み

株式会社木村鑄造所 木村 寿利 氏

M&A及びホールディングス経営を通じた金型事業の最適解の創出

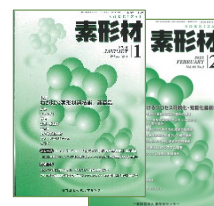
新栄ホールディングス株式会社 中村 新一 氏

※受賞内容は、下記の素形材センターホームページからご覧いただけます。

<https://www.sokezai.or.jp/pages/47/>

■ 特 典

素形材センター会長賞以上の受賞者には、
月刊誌「素形材」を1年間無料で購読いただけます。



一般財団法人素形材センター

〒105-0011

東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館301号室

電話:03(3434)3907 FAX:03(3434)3698

ホームページ URL : <http://sokezai.or.jp>